

都市再生整備計画 事後評価シート  
田端駅周辺地区

平成26年3月

東京都北区

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都	市町村名	北区	地区名	田端駅周辺地区			面積	127ha				
交付期間	H22年度～H25年度	事後評価実施時期	H25年度	交付対象事業費	346百万円	国費率	0.4						
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
	基幹事業		【公園】田端台公園改修工事、【地域生活基盤施設】新田端大橋中央自転車駐車場拡張工事、【高質空間形成施設】田端ふれあい橋脇昇降施設新設工事										
	提案事業		【まちづくり活動推進事業】地域住民と協働による修景施設										
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	基幹事業		【高質空間形成施設】東台橋脇昇降施設新設工事			支障物影響による工法変更で工期が延び、計画期間内の竣工は困難であるため。当初開催予定であったワークショップをまちづくり協議会において行うことになったため。		指標1の変更					
	提案事業		【まちづくり活動推進事業】地域住民と協働による修景施設			基幹事業への移行		影響なし					
新たに追加した事業		基幹事業		【地域生活基盤施設】地域防災施設(旧新町中学校体育館)			提案事業からの移行		影響なし				
提案事業		【高次都市施設】集会所整備(旧新町中学校体育館)			提案事業からの移行		影響なし						
提案事業		【地域創造支援事業】地域防災施設(旧新町中学校体育館)			提案事業(まちづくり活動推進事業)からの移行		影響なし						
交付期間の変更		当初	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響										
変更													
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
	指標1	田端ふれあい橋通行量	%	5.3	H22	10.0	H25	9.1	10.4	○	あり	田端ふれあい橋脇昇降施設の設置により地形高低差を越える交通弱者の移動が容易になり、歩いて暮らせるまちづくりに寄与することができた。	
	指標2	まちづくりのための意見交換会参加者数	人	250	H21	290	H25		291	○	あり	計画づくり段階で、住民団体による活発な意見交換会やワークショップが開催され参加者数が増加した。さらに、旧新町中学校体育館(新町コミュニティアーナ)の自主管理委員会が設立され、施設整備後も意見交換会が開催されていることにより、地域住民のまちづくり活動への参画が持続しており、コミュニティが活性化した。	H26年6月
指標3	地域の安全性に対する生活環境評価	指標(-2~+2)	-0.3	H20	0.0	H25	-0.4	-0.4	△	あり	田端台公園、新町コミュニティアーナの耐震化等、防災性向上の事業に努めたが、アンケート対象地域である滝野川東地区と田端駅周辺地区がやらずれていたこともあり、滝野川東地区の災害・震災の安全性に対する住民意識に改善は見られなかった。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ		
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期		
その他の数値指標1	防災性強化に関する事業に対する満足度	%	-	-				1.3			新町コミュニティアーナの耐震化等の防災性向上に関する事業について、住民参加の母体として関与してきた東田端まちづくり協議会、田端生活学校からは高い満足度が得られた。		
4) 定性的な効果発現状況	防災機能の向上を含めた田端台公園の整備によって、地域住民が防災訓練の場として使用し始める等の効果が発現している。												
5) 実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	田端台公園の利用者数調査(H24) 田端ふれあい橋交通量調査(H24)		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 他地区においても、極力モニタリングを実施するように努める					
	住民参加プロセス	まちづくり意見交換会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● まちづくりへの住民参加、意向反映を重視する					
	持続的なまちづくり体制の構築	新町コミュニティアーナ自主管理委員会 田端東部みどりの会		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 整備後の持続的なまちづくりのため、住民による維持管理等、コミュニティ活性化に努める					



## 様式2-2 地区の概要

田端駅周辺地区(東京都北区) まちづくり交付金の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
歩いて暮らせる災害に強いまちづくり		田端ふれあい橋通行量	単位: %	5.3	H22	10.0	H25	10.4	H25
		まちづくりのための意見交換会参加者数	単位: 人	250	H21	290	H25	291	H25
		地域の安全性に対する生活環境評価	単位: 指標(-2~+2)	-0.3	H20	0.0	H25	-0.4	H25
		防災性強化に関する事業に対する満足度	単位: 指標(-2~+2)	-	-	-	-	1.3	H25
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 20%;"> <p><b>新田端大橋中央自転車駐車場</b></p>  </div> <div style="width: 50%; text-align: center;">  </div> <div style="width: 20%;"> <p><b>■ 基幹事業(地域生活基盤施設)</b> 新田端大橋中央自転車駐車場拡張工事</p> <p><b>■ 基幹事業(高質空間形成施設)</b> 田端ふれあい橋脇昇降施設新設工事</p> <p><b>■ 基幹事業(高次都市施設)</b> 集会施設整備(旧新町中学校体育館)</p> <p><b>■ 基幹事業(地域生活基盤施設)</b> 地域防災施設(旧新町中学校体育館)</p> <p><b>■ 基幹事業(公園)</b> 田端台公園改修工事</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p><b>田端ふれあい橋脇昇降施設</b></p>  <p><b>地域住民と協働による修景施設</b></p>  <p><b>□ 提案事業(地域創造支援事業)</b> 地域住民と協働による修景施設</p>  <p><b>田端台公園</b></p> </div> <div style="margin-top: 10px; text-align: right;"> <p><b>凡 例</b></p> <p><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: yellow; border: 1px solid black;"></span> 基幹事業</p> <p><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; background-color: lightblue; border: 1px solid black;"></span> 提案事業</p> <p><span style="display: inline-block; width: 20px; height: 10px; border: 1px dashed black;"></span> 関連事業</p> </div>									
まちの課題の変化		<ul style="list-style-type: none"> <li>田端ふれあい橋脇昇降施設を設置したことにより、交通弱者(高齢者、障害者、ベビーカー等)の、JR田端駅付近の地形高低差を越える移動が容易になった。</li> <li>田端ふれあい橋脇昇降施設を設置したことにより、地区としてのまとまりが一定程度改善された。</li> <li>新町コミュニティアーナの自主管理により、地域コミュニティの活性化を進めることができた。</li> <li>田端台公園に防災施設機能を整備したことにより、地域住民による防災訓練の場として使用される等、地域の災害時の対応能力が向上した。</li> <li>新田端大橋中央自転車駐車場を平置き式から二段式へと収容力を強化したため、自転車の路上放置を軽減し、歩行者通行の環境を改善できた。</li> </ul>							
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)		<ul style="list-style-type: none"> <li>田端ふれあい橋脇昇降施設の設置により、地形高低差を越える交通弱者の移動が容易になったことから、引き続きの利用の安全を確保し、維持管理する。</li> <li>地域(コミュニティ)としてのまとまりを一定程度改善したが、新町コミュニティアーナの地域住民による自主管理を通じ、さらに利用を促進するとともに、利用数を増やすためのしくみを検討する。</li> <li>田端台公園に設置した防災施設機能により地域の災害時の対応力の向上が図られたことから、この機能を活用した地域関係団体の防災訓練等により、地域の防災力のさらなる向上を図る。</li> <li>他の既設公園についても、防災機能を含めた再整備を検討していく。また、田端台公園の防災機能をモデルとして、他地区・他公園に対して防災施設利用の姿をPRする。</li> <li>新田端大橋中央自転車駐車場の整備により、歩行者通行の環境を改善したが、引き続き路上放置される自転車の撤去を行うとともに、マナー等の向上を図る。</li> <li>東台橋脇昇降施設の設置等の田端駅周辺の地形高低差の阻害要因の対策について、住民の理解を得ながら、できる限り早期に実施していく。</li> <li>地区内には高台と低地部の地形高低差があるが、コミュニティの連携を強化するため、ソフト・ハード両面について、それぞれ長期と短期の観点から検討していく。</li> <li>新田端大橋中央自転車駐車場の整備を行ったが、田端駅の利便性が高く、自転車駐車場の潜在ニーズが高いと考えられることから、適地があればさらに整備を検討していく。</li> </ul>							